

けやき

たすき



櫛の櫛

「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に
 貢献できる生徒の育成
 ○自ら学ぶ ○思いやる
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

「ピッカリ千両」から小川町を学びました

10月29日(金)の4校時(保健体育)、小川町の高齢者福祉のため「ぴっかり千両体操」の普及にあたっている「はつらつクラブ」の4名の皆さんを講師にお迎えして、「ピッカリ千両節」が作成された経緯や歌詞に込められた意味などについて講義をいただきました。その後、「ぴっかり千両体操」をご指導いただき、3年生全員で気持ちの良い汗を流しました。



初めて見る「ぴっかり千両体操」に、生徒も興味津々。



「ピッカリ千両でピッカリ千両の〇〇の町」の動きは肘を伸ばして腕を突き出します。

昨年度から、保健体育の授業では「ピッカリ千両節」の曲をそのまま使用して、生徒たちができるだけ「従来の踊りの原形」を保ちながら、隊形やステップを工夫して現代風のダンスにアレンジする取組を行ってきました。今回は、「ぴっかり千両体操」の存在を中学生に伝えていただきました。町民の健康管理にまで幅広く親しまれている「ピッカリ千両節」を通して、小川町の歴史や産業にも興味を持つことができたようです。

体操の中に「紙漉き」をイメージした動きがあります。「しっかりと紙を漉いていることを意識して体を動かしてください。」とアドバイスをいただきました。やはり、小川町の伝統産業・文化である「和紙づくり(紙漉き)」を大切に伝えているのだと感じました。高齢者向けの体操とはいえ、大きく身体を動かすことで、中学生にとっても程よい準備運動になるようです。今後、中学生向けの準備運動に発展させることも……。そんな明るい展望を感じる1時間でした。

ご協力いただいた「はつらつクラブ」の高橋多美さん、原川和江さん、里見扶喜子さん、大木昌子さん、小川町社会福祉協議会の田嶋 茜さん、ご多用のところありがとうございました。

ピッカリ千両節

(昭和36年頃制作・昭和43年編曲・同年レコード制作)

一、朝きりはれた 乳首山に

茂る緑は 山の幸

里に伐り出しや 建具の本場

今朝も早ようから 木こり唄

ピッカリ千両で

ピッカリ千両の 山の町

三、色は七いろ 七夕色紙

茶ちり陰子の 紙の町

紙はうすくも 人情は厚い

すき娘いとしや 紙きぬた

ピッカリ千両で

ピッカリ千両の 紙の町

二、俺が桑畑 黄金がみのる

蚕値盛り 食いさかり

町の機場は 裏絹どころ

恋のあや糸 ひが走る

ピッカリ千両で

ピッカリ千両の 絹の町

四、腕に自慢の 上げ鉢巻で

庫の若衆は 勇み肌

町に流れる 関東灘

小川地酒の 仕込み唄

ピッカリ千両で

ピッカリ千両の 酒の町

作詩 小久保 太郎
 作曲 島野 幸
 編曲 佐伯 亮
 振付 花月 兼久

「小川町ツアー」を考えよう

1年生は、「おがわ学」に関わる取組として、「小川町ツアーを考えよう」をテーマに学習を進めてきました。小川町内外の人たちに「小川町の素晴らしさ」を知ってもらうため、各自が内巡りのルートを考える作業です。11月9日(火)の総合的な学習の時間に、その発表会を実施しました。町内の有形文化財などの建造物や、小川町ならではの食べ物屋さんなど、道順まで配慮しながら発表しました。まだ慣れないプレゼンテーションソフトに手を焼きながらも資料を作成し、当日は小川町の魅力を上手に伝えることができました。

11月12日(金)6校時には、小川町教育相談室相談員(前榊台中学校長)の山本高志先生を講師にお迎えして、小川町にちりばめられた様々な魅力について、①「小川町の歩みを知ろう」②「小川町ゆかりの人物」③「小川町のキャッチフレーズ」の3テーマに分けてわかりやすくご講演をいただきました(1年生対象)。山本先生は、和紙漉き職人の家庭に生まれ、生まれも育ちも生粋なつすいの小川町民です。大学に進学したときに、友達から「あなたの住んでる小川町って何があるの?」と聞かれたときに、はっきりと答えられなかったことが情けなく、小川町のことをもっと知りたいと感じたそうです。また、最近は都会から小川町に移住してきた方たちと話をする機会があり、「小川町って〇〇でいい町ですよ。」と言ってもらえると、自分が褒められたような気持ちになって、とても嬉しくなると話してくださいました。「ぜひ、実際に足を運んで見てください。」との言葉もありました。

今回の学習を通して、ふるさと小川町を知ることとふるさとを誇りに感じることに繋がったのではないのでしょうか。



お互いに、今まで知らなかった「小川町の歴史的・産業的な名所」に気付くことができた発表会でした。



山本先生の話からは、小川町が歴史的に見ても、交通の拠点として重要な位置にあったことなどを知ることができました。

教育相談週間が終わりました

10月下旬から始まった教育相談週間(1・2年生が生徒と担任の二者面談、3年生が生徒・保護者・担任の三者面談)が終わりました。3年生は、卒業後の進路決定に向けてかなり具体的な話し合いがもたれました。まだいろいろと迷いもあると思いますが、いろいろな角度から子供たちが自分の将来を考え切り拓いてくれることを願っています。ぜひ、保護者の皆様も子供たちの考えを尊重しながら寄り添い、励ましていってください。

1・2年生も、担任の先生と1対1でじっくりと話ができる貴重な時間になったと思います。中には、なかなか普段は相談できないようなことも、このような機会に相談できたという人がいたかもしれません。

榊台中学校では、教育相談前に生徒に「学校生活を楽しくするためのアンケート」をとっています。「いじめはこの学校でもあり得る」という危機感を常に意識して、身近な差別を解消する人権教育の推進をはじめ、いじめの早期発見・早期対応に努めています。ちなみに、11月は「いじめ防止強化月間」でもあります。保護者の皆様も、何か気になることがございましたら、学校に連絡をお願いいたします。

この教育相談期間中、私は3年生と入学試験の面接試験を想定した模擬面接を行いました。実際には面接試験がない生徒もいますが、全員との面接が組まれました。3年生の進路に向けての固い決意を感じることができました。短い時間でしたが、終了後に1対1の雑談で和やかに話げできたことも嬉しかったです。

<生徒の活躍：速報>

昨日(11/14)、狭山市民会館で開催された「アンサンブルコンテスト西部地区大会」において、吹奏楽部の皆さんが、打楽器3重奏で金賞、木管6重奏で銅賞を獲得しました。金賞チームは12月18日(土)・19日(日)に開催される県大会に出場します。おめでとうございます。